

番付で待遇が違う、厳しい大相撲の世界。7月場所、新入幕を果たした琴恵光関は、幕内だけに許される染め抜きの浴衣を着て場所に通っている。

延岡後援会（稲田義美会長）が贈呈した。

琴恵光関に染め抜きの浴衣

フェニックスをデザイン

延岡後援会が贈る

岩切隆徳事務局長によると、「琴恵光の名前を正面に、伝説の不死鳥フェニックス、後ろは、

宮崎県の木のフェニックスを染め抜いた」という。化粧まわしもこれまで

で二つだったが、延岡後援会がさらに二つ。一つは、今場所前にすでに贈呈した城山の石

垣と勝ち越しを願って八つのヤブツバキをデザイン。新たなもう一つは、27日にエンシテイホテル延岡で開催される新入幕祝賀会でデザインをお披露目する予定という。



正面向かって右に琴恵光の文字。下に伝説のフェニックス（写真上）。背中は宮崎県の木のフェニックスを入れた（写真下）——いずれも延岡後援会の提供写真

店自慢の一品おいしかった

延岡駅東口広場 マルシエにぎわう

7/17 延岡うめもん会

延岡うめもん会(田中一生代表)主催の「BERRマルシエ」が16日、延岡市の延岡駅東口広場で開かれた。会メンバーの市内飲食店などから10店舗が出店し、地ビールや自慢の料理、おつまみなどを販売。多くの家族連れでにぎわった。

同会は、延岡のおいしいもの(うめもん)を情報発信しようと、市内の料理人と生産者が連携し、5月には「カレーマルシエ」を開いている。地元食材を活用した食のイベントを四季を通じて開く取り組みを進めており、

会場では地ビールをはじめ、オリジナルカレーやたこ焼き、空揚げ、ハンバーガーなど、地元の食材を使った料理などを販売。来場者は午前11時のスタートを合図にお目当ての店を巡り、店自慢の一品をおいしそうに頬張っていた。

妻子を連れて来場した延岡市の法人職員佐藤信哉さん(34)は「エンクロスで『みちばた音楽隊』に参加してから来ました。こういう形で人が集まる場所がなかったのですね。こうしたイベントは大人から子どもまで楽しめるのでいいですね」と笑顔。

同会の田中代表は「延岡はイベントが少ないので、四季を通じてマルシエを開こうと今回で2回目の開催。農業と飲食業をつないで新しいものを作るとともに、駅東口を起点に駅西口、山下新天街の活性化につなげていけたら」と話していた。



大勢の来場者(にぎわったBERRマルシエ) (16日、延岡駅東口広場)

五ヶ瀬川
5年連続

水質日本一

BOD平均値でランク付け

全国16河川が「もつとも良好」

省
国交

国土交通省九州地方整備局はこのほど、同省が直轄管理する全国109水系164の1級河川の平成29年水質現況調査で、環境省が定めるBOD値が基準以下の「水質がもつとも良好な河川」に五ヶ瀬川、小丸川など全国16河川がランクインしたと発表した。五ヶ瀬川の「水質日本一」は5年連続で通算5度目。

調査は、全国各地の1級河川を対象に昭和33年から行われ、1年間に測定したBOD（生物化学的酸素要求量）の平均値を河川ごとに集計し、その「きれいさ」をランク付け。

その結果、良好な水質が証明された全国で16河川（昨年18）のうち、九州では五ヶ瀬川と大淀川（祝子川）▽白石（北川）

延岡河川国道事務所によると、五ヶ瀬川水系の水質調査は、三輪、松山橋（五ヶ瀬川）▽大瀬橋（大瀬川）▽中州合流点（祝子川）▽白石（北川）

の5地点で月に1回BOD値を測定し、三輪0・5▽松山橋0・5▽大瀬橋0・5▽中州合流点0・7▽白石0・5で、5地点とも環境省が定めるBOD75%値の基準を満足した。

五ヶ瀬川は過去10年間の数値でも良好な水質を示しており、平成22年度は全国16位、九州3位

山橋地点のBOD平均値が0・1を下がったためランクから外れたが、翌25年は松山橋のBOD値が再び0・5に改善。三輪地点も0・5を保ち、日本一に返り咲いた。

良好な水質は、小学生や市民の協力で同事務所が再び0・5を改善。三輪地点も0・5を保ち、日本一に返り咲いた。

「BOD 「水質環境の保全に関する基準」のうち一般的に河川の水質を表す数値。水中の有機物を栄養源として微生物が増殖・呼吸するときに消費される酸素量。水温20度で5日間のうちに微生物により酸化分解される過程で消費される酸素量を示す。

むと言われるカワゲラ類、ナガレトビゲラ類、ヒラタカゲロウ類などを採取した。

5年連続の日本一に、田浦峰星延岡河川国道事務所長は「流域住民の皆さんや関係者の皆さんの取り組みのおかげと感謝している。清流五ヶ瀬川を今後も継続していきたく」とコメントした。